

前回の諮問に対する答申結果及び対応方針について

1 諮問事項

「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」

2 審議期間等

令和 3 年 1 0 月から令和 5 年 3 月まで（答申期日、令和 5 年 3 月 3 1 日）

3 中央区消防団運営委員会の答申結果

別紙 1 のとおり

4 答申を踏まえた対応方針

別紙 2 のとおり

主な答申内容

- 1 本業等を持ち、時間等の制約がある消防団員が効率的・効果的に活動能力を向上させる方策について
  - (1) 実戦的活動力の向上関係
    - ア 特別区消防団震災マニュアル等を活用した実戦的な訓練及び署隊と連携した訓練が必要である。
    - イ 実際の街区等を使用した震災想定の実戦的な訓練が必要である。
    - ウ 消防団が主体となった総合的な訓練が必要である。
  - (2) 研修等の充実関係
    - ア 消火班等に特化した研修や教育など教育訓練の充実が必要である。
    - イ 職員が団員と同一研修に参加するなどの統一的な教育の推進が必要である。
    - ウ 消防学校が行う研修や資格取得講習の受講人員の増強が必要である。
  - (3) 訓練環境の充実関係
    - ア 消防署訓練施設や方面訓練場などの更なる活用が必要である。
    - イ 区など関係機関等と連携した新たな訓練場所の確保や総合的な訓練を実施できる大規模な訓練場の整備が必要である。
- 2 デジタル環境を有効活用した知識・判断力等の向上方策について
  - (1) 現行のデジタル環境の活用関係
    - ア オンライン教養や遠隔による訓練指導の推進が必要である。
    - イ 訓練録画映像による振り返り訓練の推進が必要である。
  - (2) 新たなデジタル環境の整備関係
    - ア 災害対応や指揮の判断等ができるアプリの開発や導入が必要である。
    - イ 二次元コード活用による各種資機材の取扱説明動画の導入が必要である。
    - ウ ARやVRなど最新のデジタル技術を活用した訓練環境の導入が必要である。
- 3 消火活動能力を低下させないための入団促進及び充足率の維持向上方策について
  - (1) 若い世代の団員確保関係
    - ア 若年層へSNSでの情報発信、インターネット広告の充実が必要である。
    - イ 学生や企業の若年層を対象とした募集や体験入団の推進が必要である。
    - ウ 現役団員との座談会の実施が必要である。
  - (2) 募集広報の充実及び強化関係
    - ア SNSの活用やインターネット広告による募集の強化が必要である。
    - イ 対象別（学生、女性など）リーフレットを活用した募集広報が必要である。
    - ウ 団員のインタビュー動画の充実が必要である。
  - (3) 各種制度の利活用
    - ア 消防団協力事業所及び制度の周知が必要である。

- イ 学生消防団認証制度のメリットの周知及び付加価値の検討が必要である。
- ウ 大規模災害団員制度等による消防団を継続できる環境の推進が必要である。

#### 4 効果的かつ負担軽減した装備資機材の検討について

##### (1) 新たな資機材関係

- ア ホース延長など、より迅速かつ負担軽減可能な資機材整備が必要である。  
(ホースバック、電動のホース延長台車等)
- イ 震災時等に備えた大量放水できる消火資機材の整備が必要である。  
(台座付き放水銃、大量放水可能な軽量ガンタイプノズル等)

##### (2) 軽量化など負担軽減関係

- ア 油圧救助資機材や手引き可搬ポンプ搬送台車など、各既存資機材の軽量化やコンパクト化、電動化の検討が必要である。
- イ 既存資機材の整理統合の検討が必要である。

答申を踏まえた対応方針

- 1 本業等を持ち、時間等の制約がある消防団員が効率的・効果的に活動能力を向上させる方策について
  - (1) 実戦的活動力の向上関係
    - ア 新たな訓練モデルの整備及び検証による実戦的活動力の強化
    - イ 可搬ポンプ積載車による出場から放水まで等の一連の火災対応訓練の推進
    - ウ 消防団訓練指導マニュアル等の整備による主体的な活動の定着化
  - (2) 研修等の充実関係
    - ア 可搬ポンプ実技講習の試行及び検証の実施
    - イ 消防団の消防学校研修等への職員の聴講の検討
    - ウ 消防学校研修や各種講習のアンケートや時勢を踏まえた随時見直し
  - (3) 訓練環境の充実関係
    - ア 消防署訓練施設や方面訓練場を有効に活用した訓練の推進
    - イ 区など関係機関と連携した訓練場所の確保推進
- 2 デジタル環境を有効活用した知識・判断力等の向上方策について
  - (1) 現行のデジタル環境の活用関係
    - ア 東京消防団e-ラーニングシステムの更新による利便性の向上
    - イ タブレット端末を有効に活用した教養や訓練の推進
  - (2) 新たなデジタル環境の整備関係
    - ア 各種資機材取扱い動画等にアクセスできる二次元コード読取り方式の導入検討
    - イ ARやVR等の技術を活用した訓練導入に向けた調査研究  
(ARやVR等の調査研究委託)
- 3 消火活動能力を低下させないための入団促進及び充足率の維持向上方策について
  - (1) 若い世代の団員確保関係
    - ア HP及びSNS等を活用した消防団活動に興味を抱く情報発信の推進
    - イ 消防団活動を知ってもらうためあらゆる機会に消防団活動の見学や資機材等の展示の推進
    - ウ 現役消防団員との座談会の実施方法の検討
  - (2) 募集広報の充実及び強化関係
    - ア インターネット広告による募集広報の拡充
    - イ 各種リーフレット等への二次元コード掲載による「東京消防団エントリーシート」を活用した入団促進
    - ウ 団員インタビュー動画等を活用した地域紹介や消防団の魅力が伝わる広報の推進
  - (3) 各種制度の利活用
    - ア 消防団協力事業所による社会貢献や消防団PRの強化

- イ 学生認証制度の周知による募集広報の強化
  - ウ 大規模災害団員制度等の更なる周知と活用による退団への対策の強化
- 4 効果的かつ負担軽減した装備資機材の検討について
- (1) 新たな資機材関係
    - ア 震災時等、迅速にホース延長できるホースバックの整備
    - イ 資機材の電動化や新しい技術を取り入れた資機材の導入検討
    - ウ 消火能力や安全管理向上のための資機材導入検討
  - (2) 軽量化など負担軽減関係
    - 更新に合わせた既存資機材の軽量化やコンパクト化など市場の開発動向の注視と検討